

地域の防災活動

大規模な災害時は、避難や救助にあたって普段の近所付き合いが大きな効果を発揮します。日頃からあいさつをしたり、地域活動に参加するなど、地域のつながりを深めておきましょう。



どんなことができるか考えてみよう

地域には災害時に役立つ技術や道具、知識を持ったみなさんがいます。自分には何ができるのか、あらかじめ近所の人々と話し合っておきましょう。

作業をする



- 清掃作業
- 物資の運搬
- 配給・炊き出し など

ものを提供する



- 救援・資材物資を提供
- 運搬用台車などの復旧用機材の提供 など

技術・知識を提供する



- 専門知識の提供
- 資機材の使い方
- 各種ノウハウ など

場所を提供する



- 緊急の避難場所
- ボランティア休息所
- 駐車場・物資の倉庫 など

情報収集する



- テレビやラジオを通じた情報収集
- インターネットによる情報のやりとり など

その他



- 子どもの世話
- レクリエーションの指導 など

自主防災組織とは

地域住民が協力して、「自分たちの地域は自分たちで守る」を合言葉にさまざまな活動を行っています。

● 自主防災組織の役割

平常時

災害に備えるための活動をします。

災害時

人命を守り、被害の拡大を防ぐために行動します。

防災知識の普及・啓発

防災講演会などを通じて、正しい防災知識を住民に伝える。

情報の収集・伝達

市と連絡を取り合い、情報を住民に伝達する。

地域内の安全点検

地域内の危険箇所や問題点を洗い出し、改善する。

避難誘導

住民を避難所など安全な場所に誘導する。

防災資機材の整備・点検

発電機や非常食、テントなどを整備・点検を行う。

救出・救助

負傷者などを救出し、応急手当、救護所や病院に運ぶ。

防災訓練

いざという時のために、地域一丸となって訓練をする。

避難所の運営

避難所で食料・物資の配布、情報伝達などをする。



防災訓練



防災講演会

自主防災組織の編成例

地域では自主防災組織を中心に防災訓練などを実施しています。また、災害時には初期消火、救出・救護なども行います。下の編成例を参考に、みなさんの地域でも自主防災組織を編成しましょう。

